

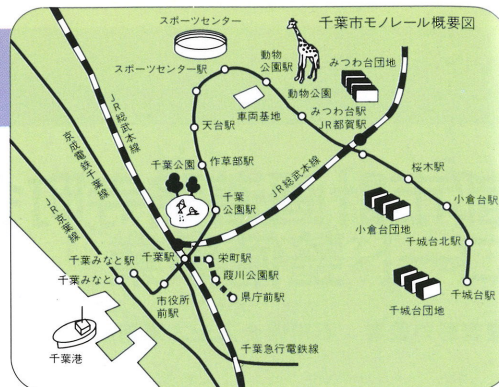
優秀賞

千葉都市モノレール建設事業 (千葉市)

■表彰対象者：千葉県都市部

表彰の理由

鉄道を跨ぐ駅舎の建設及び線路と再開発ビルの複合的建物の合併施工という困難を克服するとともに、千葉市の交通体系の骨格を大きく変える都市モノレールが建設されたことにより、内陸部と臨海部が直結され利用者の利便性が飛躍的に向上するなど、市街地交通の健全化に大きく寄与したとして評価された。



モノレールと一体的に整備した再開発ビル



国道14号上空

事業のあらまし

千葉都市モノレールは、県都千葉市の都心部のその周辺での慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、内陸団地と中心市街地さらに臨海部とを結ぶことにより、千葉市の都市交通体系の骨格を形成するため、既存の道路空間を利用した新しい交通システムとして、整備を進めている。

第1期整備区間(15.4km)のうちJR千葉駅周辺の中心市街地と臨海部のJR京葉線千葉みなと駅間(1.6km)を結ぶモノレール建設事業は、平成元年に工事着手し、平成7年8月に開業の運びとなった。



再開発ビルを背景にして



JR京葉線と接続する千葉みなと付近

事業の効果

平成7年8月に千葉～千葉みなと間が開業したことにより、現在の開業区間は千葉みなと～千城台間(13.7km)となり、これにより中心市街地を軸に内陸部と臨海部が結ばれる千葉市の新しい交通体系の骨格が形成され、また他の交通機関との接続(JR等)により、交通の利便性が一段と向上することになった。

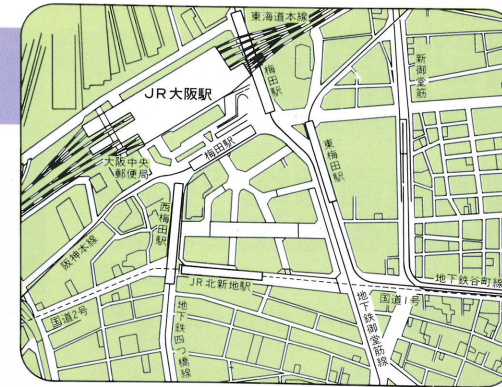
- 延長：1.6km
- 駅舎3駅(千葉、市役所前、千葉みなと)
- 全体事業費：30,459百万円
- うち街路事業費：29,041百万円
- 事業期間：平成元年度～7年7月

大阪駅前ダイヤモンド地区地下交通ネットワーク整備事業 (大阪市)

■表彰対象者：大阪市建設局・都市整備局／大阪市街地開発株式会社

表彰の理由

隣接する鉄道駅や建築物を相互に連絡する公共地下歩道と自動車駐車場を一体的に整備するなど地下を立体的に利用し、天井を可能な限り高くとり、自然光を地下街に取り入れるなど、これからの都市の地下整備の参考となる様々な工夫を凝らしていることが評価された。



カジュアルなイメージをもとに整備した公共地下歩道



駐車場案内システム (総合案内板)



公共地下駐車場



青空とビル群が見える公共地下歩道



大阪駅前ダイヤモンド地区の地上部

事業の効果

本事業の完成で、人と車のネットワークが構築されたことにより、地上交通の輻輳が緩和した。また、地域効果としては、民間ビルと接続したことにより、ビル内通路がネットワークの副導線の役割を果たし、従前に比べ人の流れが大きく変わり当地区の活性化に大いに寄与しているところである。

- 延長：780m
- 幅員：6～14m
- 全体事業費：50,000百万円
- うち街路事業費：4,846百万円
- 事業期間：平成元年度～7年度

事業のあらまし

本事業は、都心部における交通環境の改善、都市地下空間の有効活用などの観点から、西日本最大のターミナルである大阪駅前地区において、地区に隣接する7つの鉄道駅を相互に連絡するとともに地区内の建築物とも接続した公共地下歩道と、その歩道沿いに個性豊かな店舗やギャラリーを設け、併せて340台収容の公共地下駐車場を整備することにより、安全で快適な魅力のある人と車の地下交通ネットワークの形成を図ったものである。